

田園都市線駒沢大学駅西口2ビル「ウッドシティTOKYOモデル建築賞」を受賞
池上線長原駅「ASIA DESIGN PRIZE」を受賞しました！

東急株式会社
東急電鉄株式会社

東急株式会社、東急電鉄株式会社(以下、両社)が進める田園都市線地下区間5駅リニューアルプロジェクト「Green UNDER GROUND」として2024年6月に竣工した駒沢大学駅西口2ビルが、東京都主催の「ウッドシティTOKYOモデル建築賞」の「女性活躍賞」「奨励賞」のふたつを受賞しました。

また「多摩産材」を活用した、ホーム屋根の建替えや、駅舎内外装などの改修等を行っている「木になるリニューアル」として2021年12月に竣工した池上線長原駅が、韓国のデザインメディア「DESIGNSORI」が主催する「ASIA DESIGN PRIZE」の「WINNER」を受賞しました。

■Green UNDER GROUND:駒沢大学駅西口2ビル

「ウッドシティTOKYOモデル建築賞」は、東京都が木材利用の新たな可能性を開拓する革新的・モデル的な建築物または木質空間を表彰し、木材の大消費地・東京において、国産木材需要を喚起することで、多摩地域をはじめ全国の森林循環を促進し、林業・木材産業の成長を図ることを目指しているものです。対象は、都内所在の国産材を活用した公開可能な非住宅施設で、今般、駒沢大学駅西口2ビルが「女性活躍賞」と「奨励賞」のふたつを受賞しました。

主な評価のポイント

○女性活躍賞:受賞者が計画や設計、デザイン、施工管理と各段階において、女性リーダーとして活躍している。

【受賞者名】

東急電鉄株式会社 榎 千佳、塚田 麻由美

株式会社交建設計 枡倉 範子 / UDS株式会社 佐藤 弥生

○奨励賞:LVLによる耐火被覆を用いて柱・梁に全て木を採用し、構造はLSB接合による2方向ラーメン木造を用いた施設となっている。

■木になるリニューアル:長原駅

「ASIA DESIGN PRIZE」は2016年から行われているアジアを拠点とした優れたデザインを発掘するための国際的な賞であり、デザイン性や機能面だけではなく、異常気象、格差社会、人種差別、食料危機などアジアにおける社会問題への影響も評価の対象です。8回目となる2024年は世界25か国から全1,601点の応募があり、アジアを中心に活躍する世界各国のデザイナーや大学教授など7か国35名によって審査が行われ、長原駅は全体の上位15%に当たる「WINNER」に選ばれました。

主な評価のポイント

コロナウィルス後の鉄道駅のあり方を踏まえ、地域とのつながりや環境への配慮をしながら設計がされている。特に既存の構造物を活用したうえで、地元産の木材を利用することでまちの心地よい玄関口としての駅の役割を強化しながら環境にも配慮を行っている。

両社は、今後も地域の魅力が感じられ、東急線沿線地域とつながり、人々が行き交う活気のあるまちづくりに貢献していきます。



▲田園都市線駒沢大学駅西口2ビル(左)



▲ウッドシティ TOKYO モデル建築賞授賞式



▲池上線長原駅

【別紙】

■田園都市線地下区間5駅リニューアル「Green UNDER GROUND」について

“Green UNDER GROUND”とは田園都市線池尻大橋駅、三軒茶屋駅、駒沢大学駅、桜新町駅、用賀駅地下5駅のリニューアルプロジェクトです。

田園都市線の路線カラーでもある「Green」には、「快適・安全」、「スムーズ」、「クリーン・サステナブル」、「親しみが生まれる」、「新しさがある」など、さまざまな想いが込められています。開業後45年以上が経過した田園都市線の地下区間5駅を、今まで以上に心地良く、ワクワクする体験のできる空間に生まれ変わらせます。

取り組みの詳細は、オフィシャルサイトやInstagramにてお知らせしています。

オフィシャルサイト URL: <https://ii.tokyu.co.jp/grows/gug>

Instagram URL: https://www.instagram.com/gug_5stations?igsh=ZWNlbWl3dmE2czRo



▲「Green UNDER GROUND」ロゴ

1. 駒沢大学駅リニューアル概要「UNDER THE PARK」

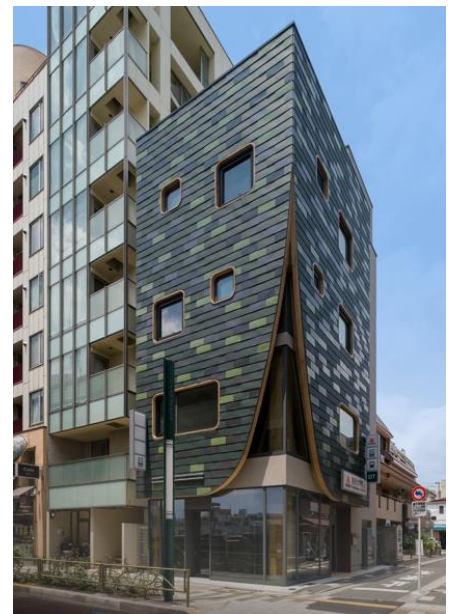
- 事業主体 東急電鉄株式会社、東急株式会社
- 建物名称 田園都市線駒沢大学駅
駒沢大学駅東口ビル
駒沢大学駅西口1ビル
駒沢大学駅西口2ビル
- 所在地 東京都世田谷区上馬4-3 ほか
- 工事内容 駅設備・内外装・旅客トイレの改修、エレベーター、店舗新設 など
- 施工会社 東急建設株式会社
- 設計・デザイン 東急電鉄一級建築士事務所
株式会社交建設計、UDS株式会社
株式会社東京建築研究所
株式会社坂田涼太郎構造設計事務所
- コミッショニング NPO法人 建築設備コミッショニング協会
- 着工 2021年7月30日(金)
- 竣工 2024年夏頃より順次竣工



▲駒沢大学駅リニューアルイメージ(コンコース)

2. 駒沢大学駅西口2ビル概要

- 用途 店舗・駅舎
- 敷地面積 約80㎡
- 延床面積 約340㎡
- 高さ 約19m
- 構造 地上木造、地下鉄筋コンクリート造
- 木材産地 長野県、高知県、愛媛県、千葉県 等
- 規模 地上4階、地下2階



▲駒沢大学駅西口2ビル

3. 参考

駒沢大学駅リニューアル概要 URL:

<https://www.tokyu.co.jp/image/news/pdf/20210730-1.pdf>

木造駅ビル「駒沢大学駅西口2ビル」URL:

<https://www.tokyu.co.jp/image/information/pdf/k-info202208-1-1.pdf>

ウッドシティTOKYOモデル建築賞 駒沢大学駅西口2ビルの受賞(東京都)URL:

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2024/12/19/10.html>

ウッドシティTOKYOモデル建築賞 駒沢大学駅西口2ビルの受賞(東京都産業労働局)URL:

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/information/topics/2024/12/20241219kenchikusyo>

過去の受賞実績

●2022年

池上線旗の台駅「優秀賞」、池上線池上駅・駅ビル開発「奨励賞」



▲池上線旗の台駅



▲池上線池上駅

■「SOCIAL WOOD PROJECT」木になるリニューアルについて

東急線沿線でさまざまな“木にいいこと”を知って・参加して・応援する機会が得られ、なにげない行動からだれもがこれまで以上に森林資源の循環に貢献できる“木と人がめぐるまちづくり”を目指すプロジェクト。本プロジェクトは、『木材活用』をコア事業として、木材の“地産都消”などの取り組みによる『地方創生』、日本の森林が抱える社会課題の解決を目指した『CSV(共創価値創造)の社会実装』、森林資源の循環につながる取り組みを通じた『コミュニティ醸成』を含めた4軸において駅を含む当社のさまざまな施設や設備に木材活用のフィールドを広げる取り組みです。

また、本プロジェクトの『木材活用』の取り組みとして、木を利用した駅づくり「木になるリニューアル」を実施しています。これまでは、駅施設において、東京都多摩地区で生育・生産される木材「多摩産材」を用いたホーム屋根の建替えや、駅舎内外装などの改修を実施してきました。また、今後は“地産都消”はもちろん、地方の木材を都市で活用する“地産都消”という考え方のもと、地方産材の利用にも取り組んでいきます。

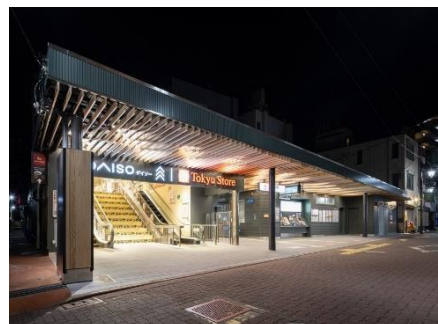
オフィシャルサイト URL: https://ii.tokyu.co.jp/withheart/socialwood_project



▲「SOCIAL WOOD PROJECT」ロゴ

1. 池上線長原駅リニューアル概要「ちょっとときになるくらしのまんなか」

- 事業主体 東急電鉄株式会社、東急株式会社
- 建物名称 池上線長原駅、東急長原駅ビル
- 所在地 東京都大田区上池台1-10-10
- 工事内容 駅舎天井・外壁
東急ストア入口改修工事
改札外店舗新設工事など
※改札外コンコースは「多摩産材木材」を活用
- 施工会社 大成建設株式会社
- 設計・デザイン 東急電鉄一級建築士事務所
株式会社交建設計
トラフ建築設計事務所



▲長原駅リニューアル(外観)

2. 参考

長原駅リニューアル概要 URL:

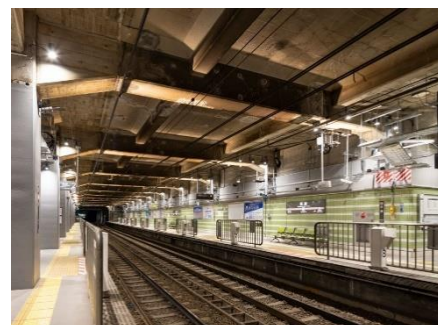
<https://www.tokyu.co.jp/image/news/pdf/20211206-1.pdf>

ASIA DESIGN PRIZEホームページ URL:

<https://asiadesignprize.com/>

長原駅リニューアル工事の受賞 URL:

https://asiadesignprize.com/index.php?filter=search&mid=exhibition&search_target=title&search_keyword=nagahara&document_srl=214819



▲長原駅リニューアル(ホーム)